

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	三遠南信地域連携ビジョン策定事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	企画部	課等名	三遠南信交流・リニア推進		包含する細々目	1	2	1	9	11	6	720
政策	8 交流と連携が活力を生むまちづくり											
施策	82 三遠南信・中京圏の連携推進											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	関連計画条例等	飯伊ふるさと市町村圏計画						
		事業期間	18	年度～		年度						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	三遠南信地域(愛知県東三河地域、静岡県遠州地域、長野県南信州地域)	三遠南信地域の市町村数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
			32	32		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
			国土形成計画広域地方計画への反映(1又は0)	18目標	最終目標	
	・一体性を確保する。 ・三遠南信地域のポテンシャルを地域の内外にアピールする。	道州制における三遠南信地域の同じ区割り	18実績	19目標		↑
23目標			23実績		最終目標達成年度	
		18目標	最終目標			
		18実績	19目標		↑	
		23目標	23実績		最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	<p>国では、道州制の導入や国土形成計画などの検討を進めており、県境を越える広域的な地域連携のあり方について積極的な検討が求められている。</p> <p>三遠南信地域の将来像とあるべき連携の姿を指し示す「三遠南信地域連携ビジョン」を策定することにより、三遠南信地域の一体性を確保し、道州制や国土形成計画など、圏域外に対して三遠南信地域のポテンシャルを強くアピールしていく。</p> <p>「三遠南信地域連携ビジョン」は、平成17年度の三遠南信サミットにおいて発案され、平成18年、19年の2か年で策定する事業。</p>	<p>・ビジョンの策定に向けた準備(打合せ)</p> <p>・ビジョン検討委員会の開催</p> <p>・ビジョン幹事会の開催</p> <p>・ビジョン拡大事務局会議の開催</p> <p>・アンケート、ヒアリング調査の実施</p>	<p>会議参加数(回)</p> <p>会議参加数(回)</p> <p>会議参加数(回)</p> <p>会議参加数(回)</p> <p>実施回数</p>	<p>3</p> <p>2</p> <p>2</p> <p>4</p> <p>2</p>
	18年度の実績			
	19年度計画	<p>・ビジョン検討委員会の開催</p> <p>・ビジョン幹事会の開催</p> <p>・ビジョン拡大事務局会議の開催</p> <p>・アンケート、ヒアリング調査の実施</p> <p>・タウンミーティングの実施</p>		

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	75	
	事業費計(A)	75	0
人件費	正規職員所要時間	18年度 110	19年度
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	393	0
	トータルコストA+B	468	0

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	三遠南信・中京圏と共通の課題を認識する協力し補完しあう	都市間交流に参加している市民の割合(三遠南信・中京圏)(%)	現状値	8.5	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	10
	三遠南信・中京圏との連携や交流が重要だと思う市民の割合(%)	三遠南信・中京圏との連携や交流が重要だと思う市民の割合(%)	現状値	74.2	19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標	80	

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
三遠南信地域を取り巻く環境が大きく変わりつつあることから、県境を越える三遠南信地域の唯一の合意形成の場である「三遠南信サミット」(第13回遠州)において、ビジョン策定が発案される。	三遠南信自動車道など地域の骨格を形成する基盤整備が進み、また、市町村合併により圏域の枠組みが変遷するなど、三遠南信地域を取り巻く環境が大きく変わりつつある。 国においては、道州制の導入や国土形成計画などの検討が進められており、地方自治体においても、県を越える広域的な地域連携のあり方について積極的な検討が求められている。	三遠南信地域との連携・交流を更に強化すべきといった意見が議会からある。 三遠南信交流に対する支援を求める声が市民からある。

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がない (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)	(評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由)		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 不可能 (その理由)
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由)

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持 実施年度 20 具体化	
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	